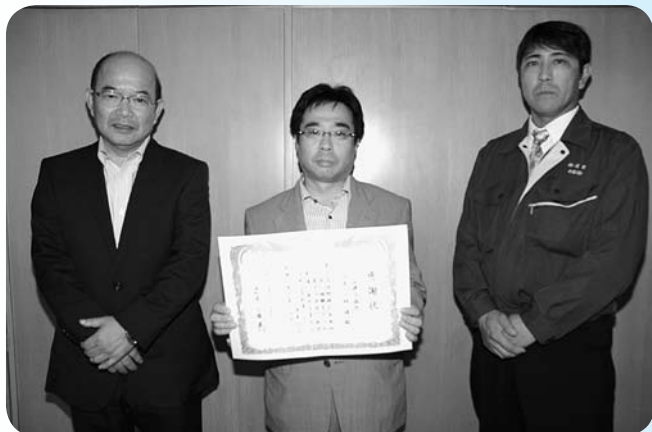




ボランティアにより、
感謝状！

上ノ国建設協会（小林誠会長）が、道の駅もんじゅの中世の岬公園敷地内に、ドッグラン施設を整備する地域貢献活動を行い、町長から感謝状を授与されました。

このドッグラン施設は広さ600㎡で、周りをネットで囲み、その中で愛犬のリードを外し、自由に遊ばせることのできる空間となっています。

小林会長は「このような地域貢献活動を今後も続けていきたい」と述べておりました。

空手、
全国大会に
足跡残す！



上ノ国空手少年団所属の8名の子どもたちが、7月28日から29日にかけて長野県で開催された、第55回文部科学大臣杯全国空手道選手権大会に出場しました。

全国の小・中学生が参加したこの大会ですが、本町からは小学生2人と中学生6人が参加し、大会の成績は惜しくも表彰台には届きませんでした。日ごろの鍛錬の成果を遺憾なく発揮して、全国から集まった同年代の子ども達と競い合いました。

身近な食生活に改善を！



地域の食生活をよりよいものにするために行われている、第29回江差地方食生活改善交流会が、7月24日に健康づくりセンターで開催されました。

「酵素力でアンチエイジング」と題されたこの交流会は、日本野菜ソムリエ協会に所属する後藤るみ子氏を講師に招き、日本人に適した食事内容や食習慣について講演されました。

講演では酵素は消化や新陳代謝に欠かせないことに触れ、酵素の不足原因やその働きを阻害する生活習慣を指摘し、本町特産品であり酵素の働きを促進させるカリウムを多く含んだサヤエンドウを使用した料理の試食も行われました。

上ノ国の農業を担う！



農業知識の研鑽と交流を図ることを目的として、役場農林課と農業改良普及センターが主催する、第2回青年農業者学習会が、7月19日に開催されました。

今回の学習会は、湛水直播栽培（たんすいちょくはんさいばい）と呼ばれる、水田に直接種をまき育苗が不要となる栽培方法をテーマとして、江差町の農地を視察する形で行われました。

参加者からは、「この栽培方法を行えば、作業の省力化だけではなく、浮いた労働力で他の作物を栽培するなど、経営の改善を図ることができそうです」と、上ノ国の農業を担う若者たちにとって有意義な学習会となりました。